

平成 23 年度 第 7 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 23 年 10 月 12 日（水） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 10 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，
各県立病院看護局長，各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 23 年度決算見込み（8 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 23 年度決算見込み（8 月末現在）について報告する。

(2) 各病院の経営方針（実質収支の目標値等）について

【説明】中央病院

地域完結型医療の推進と高度急性期病院化を中央病院の目指すべき方向性として示す。また、目標となる経営指標等について説明する。

【質疑等】

管理者：ベンチマークの中で麻酔料が少ないのはなぜか。

中央病院：麻酔管理料（Ⅱ）のうち、麻酔医による腰椎麻酔や静脈麻酔などが取れていない。

管理者：本来取れるものが取れていないということか。

中央病院：そうだ。ちゃんとチェック機能を働かせていきたい。

管理者：平均在院日数については 11 日台ということで悪くないと思う。基本的に新入院患者数を増やして、入院の長期化のリスクを減らしていかないとけない。

中央病院：循環器内科，呼吸器内科等の患者が多いので，平均在院日数が 10 日を切るのは難しいと思う。

管理者：看護局が主としてやっているベッドコントロールにどれだけ診療科が協力するかが大事だ。

【説明】三好病院

三好病院の経営状況について説明する。また、新規患者増と入院単価のアップのため、新規急性期患者の継続的獲得を今後の経営方針とする。

【質疑等】

管理者：近隣に規模の大きな病院が 3 つあり，医師不足という状況ではあるが，基礎人口が 10 万人程度いて，本来の病院の機能特性を持っていれば，やって

いく方法はあると思う。ただ、池田町や山城町からの患者数が減っているのが気がかりである。人口減のほかに何か理由があるのではないか。

三好病院：人口減だけでなく、医師不足の影響があると考えられる。

三好病院：実際は、三好市と東みよし町を合わせた人口約4万5千人に美馬市西部の人口を合わせた6万人ちょっとが対象だと思われる。医師不足の中で、新病院として何を強化していくかだが、急性期医療・循環器内科・脳神経外科に特化していきたい。そうすれば、地域住民の支持を得られるのではないか。今まで培ってきた部分を伸ばしていきたい。

管理者：特長ある診療科があるかどうかにかかってくるが、周辺の状況を考えれば、選択肢、やり方はあると思う。

管理者：新しい病院が建っただけでなく、その上に病院に吸引するような政策を考えていかないといけない。三好病院を急性期ベースにすれば、平均在院日数が長いのは良くない。長くなると診療単価が減る。また、7:1看護を取ろうとすれば、病床運用等と合わせて病床数の減少も検討しないといけない。

三好病院：病床数については今後の検討課題だと思う。

管理者：本局としても考えていかなければならない課題である。

三好病院：今、地元地域が求めているのは救急と療養の両方である。片方に特化してやっていたら楽だが、単身世帯が増えて、地域において療養病床も増やせないという問題もあり、病院としても危惧している。

管理者：急性期と慢性型の混合となると病院経営としておかしくなる。保険診療と違う形で、ケアハウスのようなものを造ることが県立病院としてできるかどうかは分からないが、いろいろ検討したい。

【説明】海部病院

実質収支等の推移について示す。また、収支改善のための取り組みや目標値について説明する。

【質疑等】

管理者：条件が限定されている中で、これまでどおり地域密着型の方向でやっていくしかないと思う。

(3) その他

- ・平成22年度企業会計決算認定特別委員会について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成22年度企業会計決算認定特別委員会について説明する。

- ・医療の確保と健全化をすすめる会について

【説明】病院局総務課 政策調整担当

「医療の確保と健全化をすすめる会」の議題及び全体構成等について説明す

る。

・次月分（11月分）の病院局経営戦略会議の議題案について

【説明】 病院局経営企画課 経営戦略担当

11月分の病院局経営戦略会議の議題案について報告する。